

令和 7 年度第 6 回あおもり未来ミーティング（東部第 5 区連合町会）会議概要

日 時：令和 7 年 10 月 15 日（水）15：25 ～ 16：50

場 所：自由ヶ丘町民会館

テーマ：投票事務従事者の選出について ほか

参加者数：8 名

市側出席者：市長、副市長、企画部長、市民部次長、環境部次長、都市整備部理事、
選挙管理委員会事務局長

■前回いただいたご意見に関する現在の状況の報告

⇒配付資料のとおり

■主なご意見等

○テーマに関するご意見等

- ・除排雪の方法等について、今年市で実施を検討していることがあれば教えてほしい。

⇒今冬からの新たな取組の一つとして、雪に関する市民相談窓口における市民からの問い合わせにスムーズに対応できるよう、民間事業者のコールセンターを活用することとしており、本年 12 月から運用を開始する。これにより、これまで窓口対応に従事してきた市の職員を現場のパトロールなどに充てるなど、除排雪体制を強化することに繋がると考える。

昨冬の年末年始のような短期間に集中した降雪、そして急激な気温上昇、降雨による路面状況の悪化時は、緊急除雪として、第 1 段階では救急車や消防車など緊急車両が通行するために、より多くの道路の確保を目的に除雪を行い、第 2 段階で通常時の除雪水準による道路幅員を確保するための除排雪作業を実施する 2 段階除雪をすることとしている。この際には、状況に応じ、不要不急の外出を控えるよう市民への呼びかけなども行ってまいりたい。

また、除排雪事業者の保有している機材の台数、性能に応じた工区・路線の見直し、将来的には市民に除排雪作業の進捗をより分かりやすく知らせるための GPS など ICT を活用した作業管理システムの試験導入などについても検討を進めている。

地元団体・市民、除排雪事業者、行政の 3 者が連携し、除排雪時の雪寄せスペースの確保や作業のタイミングなど、各地区の特性に応じた除排雪の作業方法について情報を共有するとともに、協議を行って合意した内容で締結した協定に基づき除排雪を行う「地域コミュニティ除排雪制度」の活用について、調整会議などの機会を通じて働きかけていく。

これらの他にも、早期に着手可能な取組は今年度の除排雪事業実施計画へ反映し、中長期にかけて検討が必要な施策は、引き続き実施による効果の検証などを整理しながら、持続可能な除排雪体制の構築に向けて取り組んでまいり。

- ・小柳跨線橋下に線路内への侵入を防ぐためのフェンスがあるが、一部途切れているため、山手側から海手側に渡って行ってしまう状態である。危険防止のために、確認、対処をお願いしたい。

⇒線路と道路との間にある当該場所には、ごみ置き場が設置され長らく使われていたが、本年 8 月 4 日に町会にて別の場所に移設された後は、不特定多数の方が立ち入りできる状態になっていたことから、9 月 19 日に立入防止対策として単管パイプでフェンスを設置した。また、線路への侵入防止策としては、鉄道事業者である青い森鉄道株式会社に地域要望として 9 月 10 日に情報提供をし、対策について検討するとの回答を得た。